

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要				事業開始年度	
大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	根拠法令・例規等	備前市特定疾患医療附帯療養交通費補助交付要綱
中項目	基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり	担当課(室)	社会福祉課
小項目	施策	03	障害者(児)福祉	職・氏名	障害者福祉係長 山本光男
事務事業名			16	特定疾患医療附帯療養交通費補助事業	電話
					0869-64-1824

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	特定疾患の患者
目的(何のために)	特定疾患の患者に対し、交通費の補助を行うことで経済的負担を軽減する。
行政活動(どのような方法で)	特定疾患の療養に係る交通費を週2回、月額5,000円を限度に支給する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	特定疾患の患者に対し、交通費の補助を行うことで経済的負担を軽減する。

事業の実績					
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
交通費補助件数	件	183	186	173	
交通費補助申請件数	件	183	188	179	

事業費					
直接事業費	千円	1,822	1,844	1,673	
必要人員	人	0.25人	0.14人	0.07人	
必要人員費	千円	1,700	987	521	
事業費	千円	3,522	2,831	2,194	

結果指標					
交通費補助件数	件	183	186	173	
対前年比	%	101.6%	102.7%	95.2%	
活動コスト	円	3,522,000	2,831,000	2,194,000	
単位当たりコスト	円	19,246	15,220	12,682	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
交通費補助率	目標値(A)			100	100
	実績値(B)	100	99	97	到達目標年度
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	97.0%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
交通費補助件数/交通費補助の申請件数(%)					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
市の関与の妥当性	市	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない	判定理由・課題認識
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	判定理由・課題認識
	手		
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	判定理由・課題認識
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

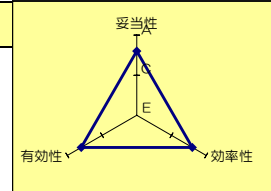
事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	183	結果指標量②	183	成果指標量	100
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
説明	申請者が年々減っている傾向があるので広報等で認知度を上げる。					

総合評価		評価区分<A~E>
目的、対象、内容については妥当で、かつ他に代わる制度がないため、必要な制度である。		B



平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
説明	特定疾患の患者に対する経済的負担を軽減するため、継続していく。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		